

第20回京丹波町ホッケーフェスティバル開催要項

- 1 趣 旨 京丹波町及び近隣市町のホッケー仲間が一堂に会し、競技力の向上を目指すとともにお互いの親睦と交流を図る。
- 2 主 催 京丹波町 京丹波町教育委員会 京丹波町スポーツ協会
- 3 主 管 京丹波町ホッケー協会
- 4 後 援 京都ホッケー協会
- 5 日 時 令和7年4月27日（日）
小学男子の部、小学女子の部、一般男子の部、一般女子の部、フレンドリーの部
令和7年4月29日（火、祝）
中学男子の部、中学女子の部
- 6 場 所 グリーンランドみずほホッケーグラウンド
- 7 種 別 等 小学男子の部、小学女子の部（小学生で構成、学年制限なし）
中学男子の部、中学女子の部（中学生で構成）
一般男子の部、一般女子の部（中学生以上一般で構成。インドアスティックを使用）
フレンドリーの部（性別割合や年齢を問わない。インドアスティックを使用）
※1選手のエントリーについては、1人1種別までとする。
※2チーム編成が困難な場合に限り、男子の部に女子を加えることを認める。
その場合は、その理由を付して参加申し込みを行うこと。
- 8 試合形式 本大会は6人制とし、前後半10分ハーフとする。（ハーフタイム3分）
各部門の参加状況によりトーナメント方式、リーグ方式により実施する。
また、トーナメント戦で同点になった場合やリーグ戦で同順位となった場合で順位を決定する必要がある場合は、シュートアウト戦を実施する。
- 9 大会ユニフォーム 原則、日本ホッケー協会ユニフォーム規程に基づくものとする。ただし、ユニフォームの下に着用するロングタイツ、長袖インナーシャツの使用にあつては、今大会では特に制限を行わない。また、ユニフォームの確保が困難な場合には、ユニフォーム規程によらずビブスなどでの参加も可能とする。この場合、参加申込書にその旨を記載すること。
- 10 参加人数 1チームの編成は選手6名以上とする。（選手の上限人数はなし）
- 11 参加料 1チーム5,000円（当日受付時に徴収）
- 12 参加申込 参加を希望するチームは令和7年4月9日（水）午後5時までに別紙参加申込書に必要事項を記入の上、京丹波町教育委員会あてにメール送信する。（電話、FAX不可）
※申込書等は京丹波町ホームページ（<http://www.town.kyotamba.kyoto.jp/>）からダウンロード可能
《送信先》京丹波町教育委員会 社会教育課
E-mail edu-shakai@town.kyotamba.lg.jp
※メールの標題は、「京丹波町ホッケーフェス参加申込」と記載。
※選手変更届は令和7年4月18日（金）午後5時までに提出すること。
- 13 組合せ 令和7年4月11日（金）に大会本部で抽選により決定する。組合せ結果については京丹波町ホームページで令和7年4月14日（月）頃に発表する。

14 特記事項

- ①本大会への参加にあたっては、チーム関係者全員（未成年の場合は選手の保護者を含む）が開催要項を理解し、チーム内での参加することの合意形成を経た上で、参加申し込みを行うこと。
- ②当日の事故、傷害に対しては、応急処置及び主催者側が加入する保険の範囲内での対応とし、それ以外の責については負わないものとする。
- ③出場チームに対し審判の選出を依頼する場合がある。
- ④ビデオタワー上での試合撮影については、試合を行っているチーム関係者（1名）のみ許可する。
- ⑤ホッケー場に併設する屋根付運動場（かがやき広場）を、休憩所として開放する。なお、会場内および会場周囲でのテント設置は不可とする。
- ⑥更衣室は、ホッケー場入り口右手のプレハブ1棟（2部屋）とする。
- ⑦本大会は感染症拡大状況等や悪天候により、大会実施中も含め急遽、中止する場合がある。
- ⑧参加多数などの参加申し込み状況により、同一団体（学校）から複数チームで申込があった場合は、エントリーの制限を行う場合がある。
- ⑨今大会では、開会式は行わず、開始式を10時頃を目途に実施する。一日の試合数が多くなることが予想されるため、開始式前にも試合を組む可能性がある。また、チーム数によっては、夕方以降、ナイター照明を点灯して試合を行う場合がある。
- ⑩チーム代表者会議については、原則行わない。（特別に連絡事項がある場合は、別途連絡を行う。）
- ⑪大会プログラムは令和7年4月23日（水）までに参加申込チームへメールにて配布する。（紙による配布は行わないので、各チームで印刷して持参すること。）
- ⑫本大会では、大会の記録用並びに広報用として映像（静止画、動画）撮影を行い、映像は、町内放送番組で広く周知するほか、静止画にあつては、ホームページ等で使用する。

運営規程

1 大会運営規程

本大会の運営はこの規程による。規程にない事項で問題が発生した場合は、大会会長、競技委員長、審判長の協議により決定する。

2 競技規則

(1) 2025 日本ホッケー協会競技規則に準ずる。

【特記事項】

- ①小学生の部においては、P C 守備時の残り 2 名はセンターラインから向こう側に位置する。それ以外の部は、相手側バックラインから 16 m 以内とする。
- ②S O は、計測は 6 秒で、16 m ポイントから実施する。
- ③小学生の部にあっては、振りかぶって行うリバースヒットを禁止する。

【2025 年度改正事項】

- ①ペナルティコーナー時、すべての守備プレイヤーはフェイスマスクを着用することが義務付けられたが、本大会では、小学生の部と中学生の部にのみ適用し、フェイスマスクを着用できない場合には、当日の受付時にその旨を口頭で事務局に報告することとする。※一般男子、一般女子、フレンドリーの部においては本規定を適用しない。
- ②上げられたボール（スクープなど）の落下点のプレイヤーへは「ボールに触れた瞬間」から、相手プレイヤーは近づくことができる。

(2) 次のとおり、一部大会ルールを適用する。

- ①フレンドリーの部、一般男子の部、一般女子の部は、大会側で用意したプラスチック製スティックを使用し競技を行う。また、ヒットを禁止する。
- ②男子の部に女子の選手が加わることを認める。
- ③ゴールキーパーを置かず 6 人全員をフィールドプレイヤーとすることができる。
- ④シュートアウト戦は、攻撃者 1 名と守備者 1 名の 1 対 1 で行う。先攻後攻と行いゴール数が上回ったチームを勝利とする。攻撃者は 1 回ごとに交代することができる（同じプレイヤーが続けて実施してもよい）。なお、守備者はプレイ不能とならない限り交代は出来ない。
- ⑤安全確保のためナイター照明使用時における試合については、ヒット（リバースヒットを含む。）を禁止する。
- ⑥マウスピースの着用の有無は、本大会では特に問わないので、監督の責任において管理を行うこと。
- ⑦試合開始時または、試合中において選手が 4 名以下（小学生、中学生の部においてはゴールキーパー必須）になった場合、棄権扱いとし、5-0 で相手チームの勝利とする。ただし、一時退場や怪我の手当てなどの場合は除く。

3 順位の決定方法

【リーグの場合】

- ①勝ち点の多いチームを上位とする。勝ち点は勝ちチームに 3 点、引き分けチームに 1 点、負けチームに 0 点をそれぞれ与える。
- ②勝ち点と同じ場合は、下記の優先順位により順位を決定する。
 - 1) 得失点差の多いチーム
 - 2) 総得点の多いチーム
 - 3) 当事者同士の対戦において勝ったチーム
 - 4) 上記事項で順位が決しない場合は、第 4 項による。

【トーナメント・決勝・3 位決定戦】

- ①規定の試合時間を終了し両チーム同点となった場合は、ただちに S O 戦を行う。

4 S O 戦

- ①両チームの監督は、1 名のシューター（毎回変更可）と 1 名の守備者を指名する。
- ②両チーム 1 名ずつのプレイヤーにより、勝敗が決するまで S O 戦を行なう。
（先攻、後攻の入れ替えは行わない）